

平成26年度「川崎市防災行政懇談会」

平成27年3月17日(火) / サンピアンかわさき 第2会議室 防災委員会

川崎市より、総務局 危機管理室 瀬戸副室長、須田担当課長に出席頂き、以下について説明を受け、質疑応答した。

1. 川崎市の防災対策について

東日本大震災では、川崎区で震度5強の最大震度が観測され、死者1名、重傷5名、軽傷12名の人的被害と、一般住宅1件、石油コンビナート1件の火災他が発生した。川崎市では地域防災計画の、津波対策、帰宅困難者対策、液状化対策、長周期地震動対策、臨海部（石油コンビナート地域）の防災対策を改訂した。平成25年4月策定の、臨海部に特化した防災計画「川崎市臨海部防災対策計画」に基づき、事業者の屋外タンクの耐震改修、非常用電源強化等、また公共施設である海底トンネル、橋梁等の耐震対策が完了し、平成26年度は、風水害、都市型災害について検討したとの事であった。

2. 東日本大震災の体験談について

東日本大震災で現地活動をされた須田課長の体験談が、多くの写真と共に紹介された。

3. 質疑応答

説明終了後も活発な質疑が交わされ、川崎市から発信される情報の入手方法・メールサービスや、コンビナート近隣事業所の避難について、他が議論された。

